精華台 せいかだい

学校だより7月号　令和5年6月30日

めざす児童像
・進んで学ぶ子
・心豊かで思いやりのある子
・元気でたくましい子

精華町立精華台小学校　検索

伝え合う言葉を大切に

梅雨の晴れ間にのぞく青空が眩しく、いよいよ本格的な夏の始まりを感じます。壁にかかったカレンダーは、半分過ぎていよいよ7月、1学期もまとめの月となりました。今年も水泳学習が始まり、水しぶきをあげながら、果敢にチャレンジする子どもたちの笑顔がまぶしく輝いて見えます。

子どもは、いつかは自立をしないといけないですよね。それは決して１人で生きるということではなく、他者と協力しながらも自立した個人として生きていくということです。そのためには、自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の気持ちを理解したり、感情をマネジメントする力が必要です。

小学校の中で、特に大きく変化、成長することを３つ挙げるとするならば・・・。

「時間をとらえることができる」

過去や未来について考える力がつくということです。「ここで友だちと喧嘩したら、同じ委員会なのに、気まずいかも」などと未来を予測したり、「３年生の時はこうだったな」と過去を振り返り考えることもできるようになります。

「横のつながりが増える」

クラスや学年のみんなとのかかわりが増えてきます。中学年や高学年になると「この人はあまり好きじゃないな」という思いが出てくる一方で、友だち関係を広い視野でとらえ「でも、こんな素敵なところもあるんだな」と考えることができるようになります。さらには、遠い国に暮らす人や歴史上の人物にまで思いを馳せ、想像できるようにもなってきます。

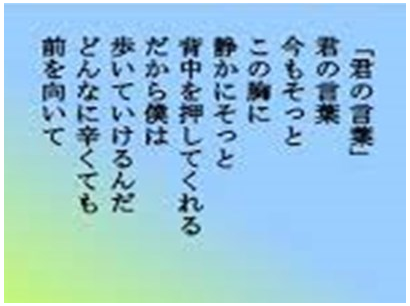
「客観的にみる力ができる」

「自分って、こんなこと言ってるけどその割にはこうだな……」「それは、お母さんの考えだよね。」などと、自分や周りをモニターすることができるようになります。時間というものに対する理解が深まり、横のつながりが増えて、客観視できるようになりますが、悩みも深くなります。これは、心の成長です。だからこそ、この時期には人とのつき合い方や感情のマネジメントというものがとても重要になってきます。

そこで、精華台小学校では**「伝え合う力」**を日常の中でも大切に育てていきたいと考えます。「伝える」だけではなく**「伝え合う力」**です。一方向による情報や考えの伝達ではなく，双方向のやりとりを通して，人と人がつながるための言語力のことです。**温かい言葉**でつながりあえるといいなと思います。

保護者・地域の皆様、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

校長　徳田　加奈子



「ポチのひとりごと」より

7月の予定

日	曜日	行事	下校時刻 1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	土							
2	日							
3	月	国際交流（1・2年）	14:15				15:05	
4	火	租税教室６年	14:15		15:05			
5	水	地域児童会　積水出前授業６年	14:15					
6	木	薬物乱用防止教室３校時　6年　クラブ③ 中間：のいちござんによる読み聞かせ	14:15			15:05		
7	金	**短4、5校時(ライトダウンデー)**	12:50		13:45			
8	土							
9	日							
10	月	短5校時	13:45					
11	火	短5校時　森林プログラム６年	13:45					
12	水	短4校時 個別懇談会１ けいはんな公園４年　午前	12:50					
13	木	短4校時　個別懇談会２ サンガつながり隊３校時５年　４校時６年	12:50					
14	金	登校指導　短4校時 個別懇談会３	12:50					
15	土							
16	日							
17	月	海の日						
18	火	短4校時　給食終了 個別懇談会４	12:50					
19	水	短3校時 個別懇談会５	11:20					
20	木	短3校時 終業式 大掃除	11:20					
21	金							
22	土							
23	日							
24	月							
25	火							
26	水							
27	木							

夏休み　８月２７日（日）まで

２学期当初の予定：８月２８日（月）短縮３校時　第２学期始業式
２９日（火）短縮４校時　地域児童会（４校時）
３０日（水）短縮５校時　給食開始

一人一人が輝く笑顔いっぱいの学校

6月14日（水）、にこにこ班開きを行いました。にこにこ班とは、1年生から6年生までを11班に分けて活動をする異年齢による縦割り班のことです。

６年生がリーダーシップを発揮して班の活動を引っ張る姿は、たいへん頼もしく見えました。各班で自己紹介が終わった後のクイズでは、にこにこ笑顔がいっぱいの和やかな雰囲気で活動ができました。

様々な学年と交流することで、たくさんの考えに触れたり、学年に応じた対応を考えたりと、一人一人が考えて行動する中で個々の心を成長させるのではないかと思います。人と繋がる中で、一人一人の良さを認め、自分の良さにも気付き、必要とされる喜びやともに支え合う喜びを味わい、自己肯定感を高めて欲しいと思います。

挑戦することや最後まで諦めないことなど、温かい雰囲気の中で発揮できることが多いと思います。「一人一人が主人公」～みんなが輝ける学校に～このスローガンを心に、一人一人が輝く、笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思います。

5年生の田植え

5年生では総合的な学習の時間に、「精華米（マイ）スター～精華町から世界へ～」というテーマのもと年間を通してお米について学習します。先日は農業委員の皆さんや地域サポーターの皆さんにもお手伝いいただき、貴重な田植え体験をすることができました。

米作りに関わる人々の苦労や願いに気付き、さまざまな食文化や食生活にも関心を持ち、考えを深められるように学習していきます。

安全な登下校のために

各地域におかれましては、地域委員の皆様、木津防犯推進委員協議会の皆様や地域ボランティアの皆様にも児童の安全な登下校のために、見守り活動にご協力いただき、ありがとうございます。また、各ご家庭におかれましても、集合時刻を守れるようにしたり、下校時刻に合わせて見守り活動に協力いただいたりしていると思います。たくさんの方のご協力をいただきながら、精華台小学校の子どもたちがのびのびと地域で育っていることを実感しています。今後も、「安全に登下校をする。」よう、学校でもご家庭でもお話ができればと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

教育漫才　～伝え合うことを高めるために～

総合的な学習の時間に、教育漫才を通して伝え合うことの大切さについて考えています。今回は4年生が教育漫才に挑戦しました。偶然できたグループでお題を決め、ネタづくりをし、練習を通してよりよいものづくりへ、そして、教育漫才大会を行い、感想交流や質疑応答を行う。この一連を行い、「温かい笑い」の中で、表現力の向上や言葉の使い方の難しさと素晴らしさについて学んでいます。普段何気なく使っている言葉ですが、たった一つの言葉で人はやる気になったり、がんばれたり、ときにはしんどくなったりします。だからこそ、“伝え合うことの大切さ”を考えることによって、「人と考えることは楽しい！」「温かい笑いでみんな笑顔に！」「この言葉はよくないな。」などと、日々の生活をより豊かなものになるようにしていきたいと思います。

のいちごさんによる読み聞かせ

本校では、読み聞かせボランティア「のいちご」さんがあります。子どもたちへの本の読み聞かせや図書室の整備や装飾など、たくさんの活動を行っていただいています。今年度も朝の読み聞かせがスタートしました。また、1年生への大型絵本の読み聞かせも先日行われました。「あいうえおうさま！」「とまと、トースト、とまと、トースト…」絵本の内容に合わせて、子どもたちは楽しそうに声を出したり、笑ったりと、笑顔いっぱいの時間となりました。今後も、おはなし会や朝の読み聞かせもありますので、楽しみにしておいてください。

諸費の徴収について

7月の諸費引き落とし日は**7月18日（火）**です。口座からの引き落としになりますので、ご確認のほどよろしくお願い致します。なお、1学期最終の諸費徴収となりますので、引き落とし不能等にご注意ください。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後の対応について（5月配布のプリントより）

・児童本人が新型コロナウイルス感染症などの感染症に感染した場合は、出席停止となります。
・「濃厚接触者」の扱いはなくなりましたので、本人は登校できます。
・感染への不安を理由に児童が学校を休む場合、これまでと同様に出席停止となります。
　欠席扱いにしない理由として、「同居家族に高齢者がいる」等、学校に申し出てください。
・発熱や腹痛、頭痛などの風邪症状は欠席扱いとなります。
　児童が安全、安心な環境の中で、充実した学校生活を送ることができるよう、対応して参りたいと思います。ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。